



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

- 国際主題 "The Power of One" 「一つとなる力」
 アジア区主題 "The Power of One" 「一つとなる力」
 西日本区主題 「すべての命を大切に」 --- いのち・平和・環境 ---
 京都部主題 豊かな心 熱き思い --- 555実現に向けて ---
 ネット主題 「ネットのねがい」を広げ、その喜びを共に分かちあいましょ

クラブ主題
**語り合おう
ワイズで**
思いやり 笑顔



見よ、おとめが身ごもって男の子を生む。その名はインマヌエルと呼ばれる。この名は「神はわれわれと共におられる」という意味である。

マタイによる福音書1章23節



「明日につなごう 未来につなごう ワイズの灯」

今、私たちにできること

東日本区理事 原 俊彦

京都プリンスの皆さま、明けましておめでとうございます。09 - 10年度東日本区理事を仰せつかって居ります、東京サンライズの原俊彦です。

昨年4月の20周年記念祝会には、貴クラブより多くのメンバーにお越し頂き、長年の夢であったDBCの締結式をさせて頂き本当に有難うございました。東京生まれ、東京育ちの私にとって京の都はあこがれの的であり、長い歴史と気品あふれる街の風情は訪れる度にいつも私を虜にし、心をときめかせてくれます。「京都には、親しい友人が一杯居て、何時でも気楽に遊びに行ける。」・・・4月の締結式以来暫くの間は、ワイズの一員である事に改めて深い感謝すると共に、そんなワクワク気分になって居りました。しかし、しかしです。7月から始まった理事職は、中々どうして私にそんな余裕と遊び心を与えてくれません。次から次へとワイズの行事で埋められる手帳、合間に仕事のスケジュールを割り込ませると3日と連続して休みが取れません。今は、「京の楽しみは理事終了後にゆっくりと...」そう考えが変わりました。

さて、今年度私は理事主題として「明日につなごう 未来につなごう ワイズの灯」と致しました。一見、何の変哲もないこの主題の真に意味する処は、「あなたのクラブに明日は在りますか？ 例え明日があったとしても、その先未来がありますか？」と全クラブに対し極めてシビアな問い掛けをしているのです。この背景には、日本区が東西に分かれて13年、毎年のように会員増強が叫ばれるものの、高齢化とメンバーの減少に歯止めが掛からないという現実があります。しかしながら、そうした厳しい状況の中、昨年度から始まった「2000プロジェクト」は、新しいクラブの誕生を加速させています。

昨年11月には世界最大・107名のメンバーを擁する沖縄クラブが誕生、また、その他の地域でも「新クラブ作り」の動きが活発化しています。8月には、京都大会以来22年振りとなる「横浜国際大会」があります。京都プリンスからも多くのメンバーが参加され一緒に大会を楽しめれば、と願っています。今年度、金丸会長の下、京都プリンスクラブの動きがますます活性化し、東京サンライズとも更に有効な関係を築く事が出来ますよう祈っています。

会 長 金丸 太郎
副会長 三村 良行
書 記 古川 安雄
会 計 小泉 洋

1月例会案内

8日(金)

新年例会

清水順正「おかべや」で、温かい湯豆腐を食べながら新年の抱負を語りましょう。

20日(水)

半年総会

メンバー倍増を目指して、より実りある総会に！

例会出席

12月第1例会	13名
12月第2例会	12名
在籍者数	17名
出席率	82.4%
前回出席修正	

B Fポイント

切手	0pt
現金	0円
累計	0円

ニコニコ

12月第1例会	8,000円
12月第2例会	5,000円
累 計	50,000円

ファンド

じゃがいも	269,845円
累 計	302,965円

強調
月間

IBC・DBC

BCとの交流プログラムを企画し実施しよう！ 連絡の絶えているBCとの交流を再会しワイズの輪を国の内外に広げよう！

谷本秀康 交流事業主任



京都プリンススイズメンズクラブメネット会に協力をお願いして、希少難病患者の方々の実情を多くの方に知っていただきたくこの講演会を企画していただいた。当日はゲストを含め42名の参加をいただき、代表理事小泉二郎様から難病患者の実情を、また常任理事であり当事者である患者代表中岡亜季様からはご自分の生き様についてのお話を伺った。

難病患者の実情は厳しく国の難病指定を受けられていない希少難病には国の支援金が下りず研究も進まず、治療法や治療薬も確立されていない。彼らに与えられている選択肢はいかに死を迎えるかである。そこで、その現実を受け入れつつに患者さん達が前向きに生きていくかをサポートし、治療法の研究や治療薬の開発が行われる環境の構築をめざしてこのNPO法人SORD(ソルド)は設立されたとのこと。難病患者にとってのよりよい環境づくりのために多くの方にこの現状を知ってもらいなんらかのムーブにつながればとの思いで講演会を続けていられる。

また難病『遠位型ミオパチー』を患っておられる中岡様は赤裸々にご自分の肉体的な状況を映像とご自分の言葉で語ってくださった。25歳での発病・病気を受け入れるまでの苦悩は察するに余りあるものであるが、現在32歳の女性として自立を目指して活動を続けておられる様子には胸を打たれる思いがした。自殺を考えたこともあるとおっしゃり、また後数年で寝たきりになるとの状況でも、ご自分と他の患者さん達のために医療器具を輸入し紹介するための会社を起業するに至っておられる。この9月には富士登山にもチャレンジされ、さらには北極でのオーロラ観測も2年後には実現したいとひたすら前向きである。彼女の思いは『死なないでいることと、生きるということは違う』であり、その言葉の重さを痛感した。

『生きる』ということは正しく自分の置かれた状況を受け止め、その上で自分に何が出来るかを求め、それにむかって努めることではないかとの思いを強くした。当たり前なわかりきったことでもそれが出来ずに『自殺』に走る若者や投げやりな人生を送る多くの人たちに、彼女の生き様を是非知ってほしいと思った。この講演会開催に尽力いただいたプリンスクラブ・メネット会・ご参加いただいた方々に感謝すると同時に、少しでも希少難病についての理解が深まればと願うばかりだ。今期西日本区理事主題『すべての命を大切に』を改めて考えるよい機会になったと思う。



事前に例会へのお誘いが功を奏したのか、本日の例会は久しぶりに忘れかけていた「活気」が戻った例会となった。メンバー候補10名、他クラブからのビジター12名をお迎えし、メネット、コメントそしてゲストスピーカーを含めると40名を超え、例会場も広い部屋に移しての例会に、快い緊張感がある。例会を司るドライバ-委員長と委員にも、会長三役の顔にも普段にない空気が感じられる。以前、そう2001~2002年ごろまでの例会はいつもこれぐらいの雰囲気だったと昔の記憶が蘇ってきた。

今日はNPO法人 希少難病患者支援事務局(SORD)の常任理事で患者代表でもある中岡 亜季様のお話を聞くことができました。25歳で100万人に2~3人の確率で発症するという希少難病「遠位型ミオパチー」の告知を受け、それまでの日本航空国際線客室乗務員としての生活から約7年間の闘病生活。患者会を立ち上げ活動されたのち2008年11月からSORD設立に参画され、今日まで希少難病患者の実情を多くの人に周知してもらうための広報活動を展開されています。一方では障害者やその家族、友人が心豊かに生活するためのモノやコトを福祉先進国の北欧やヨーロッパから輸入するための会社を起業設立。

何のために生きているのか、生への問いかけを常に考え、チャレンジし続けるその姿勢に心を動かされました。また、事務局長の加賀俊裕氏よりDVDで中岡様や会の紹介もあり、代表理事の小泉二郎様から2009年9月に実施された車椅子の希少難病患者等と共に富士登山したときの裏話や、現在の実情、そしてこれからのチャレンジについてもお話いただきました。内容の濃い例会は時間のたつのも早く、惜しまれて閉会となりました。

一日の仕事を終え、メンバーが例会という共通の場所に集い、多くの良き仲間との交流を深め、互いに自己を高め、研鑽を計り、その中で蓄えられた力を地域社会にYMCAに奉仕するという目的を考えると、いかに「例会」と「会員数」が大切か考えさせられた時でもありました。





今期のクリスマス例会は、12月23日天皇誕生日の祝日にグランドプリンスホテル京都で開催されました。前期に続いての合同クリスマス例会、今期は3クラブ合同ですが賑やかな華やいだ例会となりました。

3クラブとは、めいぷるクラブ、ウェルクラブ、そしてプリンスです。出席人数は総数83名。プリンスメネット7名をはじめ、他クラブのメネットも多く出席され華やかなパーティーとなり、コメットも全部で27名と、クリスマス例会らしい例会を味わうことが出来ました。我プリンスにとっては久しぶりの12名のコメット達によるクリスマスキャンドルでスタートしました。自分達のコメットの小さい時を思い出します。

開会点鐘はめいぷるの坂下会長、開会の挨拶は3クラブを代表してウェルの中村会長がされ、聖書朗読を小浜から来ていただいた古賀牧師よりお話を頂きました。そして辻中連絡主事の食前の感謝、金丸会長による「メリークリスマス！」乾杯で始まったディナータイムには、バンド演奏がバックにあり、ベンチャーズサウンドとグループサウンドのバンドの迫力を堪能しました。宴も盛り上がったのダンスでは、孫コメット達のかわいらしいダンス、古賀牧師のノリノリの上手なダンスと楽しかったです。

次に、恒例の会長サンタクロースでは坂下会長が登場され、コメット達の黄色い声が一段と増しました。そして、幾つになってもプレゼントがやはり欲しいのか、席をはずして交流、歓談していた皆さん全員がテーブルに戻りドアプライズが始まりました。今回は、メンバー全員が一人千円相当のプレゼントを2個持参してドアプライズの賞品の一部とし、超ビッグなドアプライズショーとなりました。進行担当は、西村ワイズとウェルの川嶋ワイズがされ、ユニークなトークで面白おかしく、そして笑顔で盛り上がりました。又、全員に当たるような進行担当の配慮は良かったと思います。

そしてニコニコがあり、金丸会長の閉会挨拶で締めとなりました。3クラブ合同例会だからでしょうか、人数が多い、メネット、コメットも多いということでパーティーらしくなりました。西村委員長はじめ、3クラブのドライバー委員会の皆様ありがとうございました。



今年もウエル、メイプルクラブと合同のクリスマス例会でした。おじいちゃんに抱っこされたゼロ歳のマゴメットから小学5年生迄のコメットのキャンドルサービスが始まりました。我が家の娘息子達も、蠟を垂らしながら先頭を歩いていた頃を思い出しました。いつの頃からペンライトを使うようになったのでしょうか。

牧師先生のクリスマスメッセ - ジ、いつもの例会食より少し豪華な食事タイムに続き、メインイベントはオールディーズのエレキギター演奏です。所が、あまりの爆音に外に避難してしまいました。私の耳には、少々刺激が強すぎました。同テーブルの方たちとおしゃべりを楽しみたいと思っていたのですが。

折角、3クラブ合同ということなので、いつものドアプライズだけではなく、何か皆で楽しめる工夫があっても良かったのではないのでしょうか。



奈良昭彦ワイズからのメッセージ

- - 新しい年、地に平和が満ちますように - -

「チェンジ」の年と言われた昨年ですが、オバマ大統領や鳩山民主党政権が「チェンジ」することの難しさに直面してフラつく様子を見せつけられた年でもありました。話題になった「事業仕分け」での、スーパーコンピューター開発の是非をめぐる蓮舫議員の発言「一番じゃなければいけないのですか、二番じゃだめなのですか」に共感を覚えます。国連(UNDP)が毎年公表しているHDI(人間開発レポート)によると、2009年の日本の人間開発指標(HDI) - 住みやすさ指標ともいわれます - は世界第10位です。スパコンに限ることなく、二番でも三番でも十番でも良いではありませんか。かって私が2年間過ごしたブータンは同指標では132位ですが、決して住みにくい国ではありませんでした。

本当の「チェンジ」は、私たち一人ひとりが、そのライフスタイルを変えることなしには実現しません。覚悟をもって「チェンジ」へのステップを踏み出すことのできるような年にしたいものです。

YMCAって何してるの？ どんな人が居るの？

京都YMCAウエルネスセンター
嘱託専任講師 山崎はるか



京都YMCAの数あるプログラムの中の体操教室についてご紹介させていただきます。私がプログラムディレクターを勤めるこの体操教室は笑顔が絶えない素敵な教室です。鉄棒・跳び箱・マット中心に1グループ5～8人の少人数制で行っています。幼児年中・年長クラス（2クラス）と小学1年生～6年生のクラス（4クラス）があります。

体操がはじめから好きな子ども、あまり好きでない子ども、と対象は様々です。どちらかというあまり得意でない子どもたちが多く参加をしています。そんな子どもたちに体操が好きになっていただくために、子どもたち一人一人にあわせた目標を設定し指導を行っています。

例えば鉄棒で「逆上がりができるようになる」だけが目標ではなく、「先週よりも足を高く上げる」ことや、「さきほどよりも強く床を蹴ること」など目標を細分化し、それが達成できた時にたくさんほめることで子どもたちに達成感を与えられるように心掛けています。ほめられると次も頑張る気持ちが生まれ、一つ一つ達成していくと喜びを感じます。達成するとまた新たな目標が生まれる。できた楽しい もっと色々なことに挑戦したい こんな気持ちを大切に日々指導に取り組んでいます。子どもたちにより解りやすく、より楽しく学んでもらうためリーダーたちもトレーニングを重ね共に成長していけるように頑張っています。

そんなリーダーたちは子どもたちが大好きです。子どもたちは体操が大好きで子どもたち同士も仲が良い。そして何よりリーダーたちと仲が良いです。いつも体操が終わってから片付けをしていると子どもたちが、「お母さん片付けてくるし待って！」といて自主的に手伝いにきてくれます。そして片付けが終わると一緒に遊んだりたくさん話をしたりします。体操の時間だけでなく楽しいことがいっぱいなのです。 そんな体操教室が私は大好きです。

7年前、YMCAの専門学校に入学しこの体操教室と出会い気付けばYMCAに就職し今でもこうして指導を続けていけることを幸せに思います。もちろんつらいこともあります。そんな時も子どもたちの笑顔に救われます。笑顔いっぱいのかわいい子どもたちに囲まれた本当に素敵な教室です。皆様も是非京都YMCAの体操教室を覗きに來てください。お待ちしております

メンバー自己紹介コーナー

森伸二郎です



この1月で満60歳、還暦を迎えます。ここ3年ほど前からゴルフにはまってしまい、最近はおっぱらゴルフが中心で、旅行に行く先も、ゴルフができるかできないかで決まります。一昔前のアラ5の頃は、古い町並みの残る町を訪ねる事にはまっていて、休日になるとデジカメを持って嫁さんを隣に乗せて車で走っていました。何処を訪ねたかは、「星を琢おじさんの町並み歩き」というキーワードでホームページを検索してみてください。京都から片道250km圏内、日帰りできる所はほとんど行きました。年間2万5千kmぐらい走ってました。更にもう一昔前アラ4の頃はと言うと、車の荷室に、キャンプ道具と天体望遠鏡を積んで、金曜日の夜はほとんど出かけていました。明らかに雨や雪が予測される以外の日は。そんな真冬の満月の午前3時頃、時雨がやんで車の外へ出た時に、月の明かりでできる虹、Moonbowを見る事が出来ました。Moonbowをみると幸せになれると言われています。私がワイズに誘われて入ったのは、その頃でした。

入会して10年目に会長を仰せつかり、そして21年目に2回目の会長を志願しました。

私は、ワイズが大好きです。私がワイズメンでいたこの20年間に、わがクラブのメンバー数は3分の1に激減しました。私に何が出来るのだろうか思っていた矢先、「会長のなり手が無いなら、あんたが会長したらいいやん」と嫁さんに言われ、2回目の会長を志願しました。何としてでも3年後には、メンバー数を倍増させるを目標に、会長を務めようと思っています。還暦を迎えた今、私がおぼろげな事は、この事なのか。

東京サンライズクラブからの報告

今月は話題が二つ。東京YMCA山中湖センターが主催している「地域の子供達のためのクリスマス」のお手伝いに行ってきた。例年120～150人くらい集まるのですが、今年はインフルエンザのため全体でのゲームやビンゴは中止して、五月雨式の集合で、来た順にゲームをして、抽選で商品を手に入れた。帰りにお菓子をもらうということにしました。冷たい雨のせいか子供40人、大人10人の寂しいクリスマスになってしまいました。来年は、クリスマスページェントを人形劇で、備後も復活の予定です。ぜひ一度遊びに来てください。

忘年会を兼ねたお散歩例会をしました。このところ停滞気味で手抜きのお散歩が続いていましたが、今回は真面目に散歩をして、楽しい忘年会も行なえました。年末の忙しい時期ではありますが、ぜひ一度参加してみてください。



皆さんが主役です

あっという間にあと半年を切り各委員会の準備にもエンジンがかかってきました。円高の逆境ですが、アフリカ、ロシア、ヨーロッパ等からグループでの参加も表明されてきています。それぞれのIBCへの参加のアピールを引き続きよろしくお願ひいたします。

22年ぶりの国際大会は日本のワイズメンの素晴らしさを世界に示す良い機会であると同時に、居ながらにして国際大会に参加できる貴重な機会です。そして大会を盛り上げるのは皆さんです。

大会に参加すると同時に夏祭りの盆踊りに、夜店に、マーシャルとして、また通訳として、案内係としてそのほか、なんでもお手伝いいただき、ご自身が楽しむと同時に、遠来のお客様にも喜んでいただき、国際組織の一員であることを実感してください。

ホストコミッティー委員長 藤井寛敏

まずは大会登録を

昨年10月に登録受付が開始されたと思ったら、あっという間に年が明け、8月5日の大会当日がググッと迫って参りました。そうです。月日のたつのは本当に早いものです。・・・まだまだ先だからと高をくくって登録を先延ばしにしているあなた、そう、あなたです・・・もたもたしていると4月も過ぎて早期登録の特典さえも失ってしまいますよ。まずは登録。何よりもこれが全て。後の事は登録してからじっくり考えましょう。情緒豊かな港町横浜、素晴らしい会場、おいしい食事、楽しいプログラムの数々そして何より世界のワイズとの楽しい交わり・・・考えるだけで本当に心がときめきます。

既に東京江東、東京ひがし、東京世田谷、横浜、横浜つづきの各クラブは、メンバー数以上の登録を完了されています。さあ、みんな揃って横浜国際大会に登録しましょう！

登録・推進委員長 原俊彦

マーシャル募集中

国際大会がスムーズに運営され、思い出に残る印象深い大会とすべくマーシャルは笑顔で挨拶、会場・プログラムの案内・誘導、困りごと相談などなど参加者へのホスピタリティを担当します。

環境を考え、マーシャルハットはダンボールでカンカン帽を我々の手で作ります。

マーシャルは「マーシャル専用携帯サイト」で連絡し合い、グループ単位で行動しますので、どなたでもマーシャルになれます。外国語ができなくても担っていただく仕事はたくさんあります、ご奉仕頂ける方はご一報下さい。

単に参加するだけでなく、大会の運営に携わることで、大会がより楽しい思い出になることお請け合ひいたします。

マーシャル委員長 松田俊彦

大会ファンドへのご協力を

今回の国際大会をより充実した大会にするために、ファンド委員会においては1,000万円以上(ユースコンボケーション補助を含む)を目標に募金活動を行っています。皆様にご協力いただいている大会バッジの販売などもその一環です。

プログラム委員会においても、単なるワイズの内なる大会の枠を超えて、より開かれた大会となるように準備を進めています。今後は協賛企業を募るなど、地域に生きるワイズをアピールしながら募金を進めてまいります。また、チャリティーゴルフコンペの開催など、楽しみながらの募金も企画しており、一層のご協力をお願いいたします。

協賛企業のご紹介、ファンド集めのアイデアなどがありましたら鈴木までご連絡ください。

ファンド委員長 鈴木健次

【大会プログラム】

22年振りに日本で開催される国際大会。国際協会の基本ルールはありますが、プログラム委員会は、日本独特のものを打ち出しながら、ひとつひとつのプログラムを吟味しています。世界のワイズメン、メネット、ユースと素晴らしい4日間をお楽しみ下さい。

大会プログラムは、皆さんのご提案を受けながら、具体化に向けて進んでいます。日本の夏祭りへの出店・出演参加の申し込みを受付中です。各クラブによる各地の物産店も計画しています。是非ご参加下さい。また、基調講演は一般公開としました。お知り合いの方にはぜひお声がけ下さい。IBC合同締結式やIBC懇親の場も用意いたします。

現時点でのプログラムの枠組みは次のとおりです。積極的なご参加をお願い致します。

プログラム委員長 清水弘一

	8月5日(木)	8月6日(金)	8月7日(土)	8月8日(日)
午前	・登録 ・リハーサル	・国際書記長報告 ・全体会議(国連関連等) (メネットプログラム並行開催)	・全体会議(環境フォーラム) ・分科会	・礼拝 ・ユースコンボ報告 ・次期国際大会アピール他 ・閉会式
昼食	各自	弁当	着席ビュッフェ	軽食
午後	・開会式(国際役員就任式) ・公開基調講演(枝廣淳子さん) ・PIPスピーチ等	エクスカーション(横浜市内観光、都内(浅草)観光、環境関連施設視察等)	・分科会 ・地域別の集まり	(オプションツアー)
夜	PACIFCO「展示ホール」にて「日本の夏祭り」(屋台、盆踊り、大道芸・・・)	PACIFCO「展示ホール」にて着席ビュッフェ(PIPスピーチ、地域別出し物・・・)	PACIFCO「展示ホール」にて正席ビュッフェ(PIPスピーチ、表彰、音楽、ダンス・・・)	

大会ウェブサイトへお越し下さい

いよいよ夏の国際大会本番にむけてフル回転の季節となりました。皆さんが大会準備を楽しめるように広報もチーム一丸となって努力したいと思います。万が一まだウェブサイトをご覧になっていない方がおられれば今すぐ、以下のサイトにアクセスしてください。お子様やお孫さんに頼んで、一緒にご覧になってよいかもしれませんね。「日の丸」をクリックしていただければ日本語サイトにつながります。
<http://ic2010yokohama.web.fc2.com/>
ワイズメンすべてがワイズ運動の素晴らしさを広報する絶好の機会ですので、ワイズメン、メネット、コースが多く新しい仲間・知人を誘えるようにメンバー自らの広報活動お願いいたします。

広報委員長 西村隆夫

通訳やってみませんか？

海外からのお客様を温かくお迎えし、横浜での楽しい思い出を沢山お土産にさせていただきたいですね、通訳ボランティアをお手伝い頂けませんか？英語、ロシア語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、フランス語、スワヒリ語・・・少しでも、お話できる方 海外からのお客様を温かくお迎えし、横浜での楽しい思い出を沢山お土産にさせていただきたいですね、Anybody Volunteer? 自薦、他薦でご連絡ください。

総務委員長 小原武夫

交通委員会からのお願い

横浜国際大会には海外からのお客様のみならず日本各地からワイズメンが参集します。横浜は知名度の高い都市ですが土地不案内の方々に大会を楽しく過ごして頂くよう交通委員会は万全の体制でお迎えする体制を整えようとしていますが、お手伝い頂くワイズメンの不足が予想されます。横浜近隣のワイズメンには是非ご協力をお願いいたします。

交通委員長 浅見隆夫

ゆったりとした会場

主会場となる国立大ホールは、今年も11月にAPECの国際会議の開催が予定されている大会議場で、3,500人を収容出来る、ゆったりとしたスペースが、まさに、皆様を国際的な雰囲気にお連れします。また、晩餐会の会場となる展示ホールもゆったりとしたスペースの中で着席のテーブルを確保し、お祭り、アトラクション、ダンス等と共に横浜の美味を満喫頂けます。

会場委員長 高田一彦

メネットプログラムを楽しみましょう！

プロジェクト1「絵本交換」

YMCAの子どもたちのために海外から持ってきていただく絵本と交換するためにご参加の皆様は是非日本の絵本をお持ちください。

プロジェクト2「平和の祈り」

被爆国の私たちがもう一度平和を考えましょう。千羽鶴と平和ペンギンを折って、平和を祈りましょう。

プログラム

1日目の夜は、日本の夏祭りです。浴衣を着て参加し、海外の方と盆踊りを踊り、屋台を回しましょう。西瓜割り（ビーチボール）、メネット手作り品屋台もあります。

2日目の午前中はメネットアワーです。6グループに分かれて、わいわいガヤガヤ。夫々、体を動かしたり、日本の手工品を作ったり、歌ったりして楽しみましょ

う。日本の「メネットソング」を英語で歌います。（西村久美子訳）

3日目は「メネットセッション」。メネットの活動について、YMCAとの関係など話しあいましょう。

毎日、メネットは楽しめます！

メネットプログラム委員長 藤井祥子

コースコンボケーションへのご支援も

横浜国際大会のテーマは「いのち - 未来への継承」
“From Our Hands, We Pass Nature's Torch”です。私たちは、だれに未来を託そうとしているのでしょうか。コース・若者以外に託せるものがないことは、明らかです。

従って今回の国際大会でコースの果たす役割が大きく期待されています。近年の国際コースコンボケーション(ICY)は、内容が充実し、「若者の、若者による、若者のためのコンボケーション」となっています。ぜひ日本からも、有為の若者を参加させてください。クラブとして、またサポートするYMCAから参加者の推薦をお願いいたします。

今回のICYは、会場が東山荘・富士山YMCA・横浜と3箇所になり、移動に時間とコストがかかるのですが、コースに最高の舞台を準備できると確信しています。しかし、6泊7日の宿泊・食事・交通費等の必要経費は、参加登録費だけでは到底賄いきれません。幸い東・西日本区のコース事業から多大のご支援をいただいておりますが、なお相当額が不足している実状です。ご支援をよろしくお願いいたします。

コースプログラム委員長 林茂博

大会登録について

- 大会ウェブサイトアクセスできる方は是非ウェブサイトからの登録をお奨め、お願いいたします。大会、エクスカーション、ホテル等の詳細な案内が画像付きで得られ、ホテルの予約がその場で完結し、支払い処理もできます。キャンセル、変更、追加も容易に行え、さらに、登録後の各種の連絡もウェブサイト、メールを通じてタイムリーに行われます。また、FAXでの登録受付に必要なコストも不要となり、大会経費の削減にもつながります。
- 大会ウェブサイトからの登録は、まず登録者の個人情報（氏名、住所、メールアドレス等）を登録いただいたのち、大会登録（参加申込）、ホテル予約、支払い処理を行っていただきます。個人情報の登録だけでは大会登録は完了していないことにご留意下さい。
- 大会登録だけをまず行っておき、その後改めてホテル予約、支払い処理を行うこともできます。但し人気の高いホテルは早く満室になりますので早めの予約をお奨めします。ホテルのキャンセルは宿泊6日前までは無料です。
- 大会登録費のお支払いは、早期登録の方は登録締め切り日の4月末までをお願いいたします。
- ご家族、クラブ、お仲間等のグループでの登録が可能です。この場合、最初に個人情報登録される方を「お申込み代表者」、その他の方を「メンバー」（同行者）として扱い、事務局からの連絡は「お申込み代表者」宛に行わせていただき、支払い処理は「お申込み代表者」にまとめて行っていただきます。クラブ単位等でのグループ登録（最大50名）もこの条件のもとで可能です。グループ登録も大会経費の削減につながりますので是非よろしくお願いいたします

事務局長/登録・宿泊委員長 田中博之

「ありがとう」「ありがとう」「ありがとう」と「ありがとうございます」という言葉を何回使うことができたでしょうか。一日に何回言えたでしょうか。何人の人に伝えることができたでしょうか。そして神様に。

さて、2009年の一年間で私たちを取り巻く社会環境は、少しずつでも改善されより良い方向へと歩むことができたのでしょうか。「待つこと」ができずに急ぎ慌て、人が心を見失う「忙しい」社会へと皆が歩んではいないでしょうか。人と人との関係が助け合う関係ではなく、ましてや赦し赦される関係をもちにくくなっているのではないのでしょうか。嘆きやため息ばかりが聞こえ、感謝のことばが掻き消されてしまいます。

このような社会にあって、京都YMCAでは昨年も多くの子どもたちが様々なプログラムを通して仲間やリーダーに育まれ、更にはそのリーダーが子どもたちとのプログラムやトレーニングで育てられました。英語や専門学校のクラスでは先生と生徒がそれぞれ研鑽を積むことを通して、異なる文化を理解することや福祉社会をはじめとした社会の課題と向き合ってきました。また紛争や災害の前で立ち尽くす人たちのことを憶え募金活動や祈りを捧げることができました。病気や障がいのある子どもたちとともにプログラムが続けられました。更にはこれらの活動を支えるために会員、ワイズメンそしてスタッフの一人ひとりが様々な形で学ぶことや役割を担うことで自分自身が変革される機会が与えられました。

これらすべての事業に必要で最も多く用いられた言葉は「感謝」です。参加することを勧めてくれた家族に「ありがとう」。リーダーや先生に「ありがとう」。このような機会を用意しサポートして下さったボランティアの皆さんに心からの「ありがとう」。関わることで良かったですという会員の方々の「ありがとう」。

こんな感謝の気持ちで溢れる一年であり、YMCAというコミュニティでありました。2010年は「生かされていること」「あたりまえのこと」を神様に日々感謝し、心から「ありがとう」と言い合える人間関係と社会へとすすむことができるように、YMCAから社会へとより力強く発信することが必要と考えています。

新しい年もすべてのことを感謝し、「いつも喜んでいられること」ができますように。

神様、新しい年が与えられ感謝します。どうか今年もよい一年でありますように。

1. 正会員希望者のためのYMCAオリエンテーション講座

京都YMCAの願いと会員活動をよりよく知っていただくために 正会員としてYMCA運動を積極的に担っていこうという意欲のある方を対象にYMCAについての理解をより一層深めてもらうための講座です。

日時 2010年1月25日(月) 午後7時～9時

場所 京都YMCA三条本館201号室

対象 京都YMCA会員として3年以上の方、またはキリスト者で正会員として志のある方

申込方法 申込書に必要事項をご記入のうえ1月22日(金)までにYMCA受付または FAX、e-mail にて申込みください。

2. 「ぼくはうみがみたくなりました」京都上映会&活動報告会

この作品の原作者で、自閉症の男の子の父親でもあった山下久仁明氏が、3年の月日をかけて作りあげた映画「ぼくはうみがみたくなりました」。本活動報告会・上映会は、2009年4月に完成したこの映画の上映を通して、広く今の社会に生きる人々に向けて「自閉症」に対する理解を求めていくために実施します。

また、障がいがある子どもたちへの支援をおこなっている2つの事例から、支援のあり方について考えを深めていきます。日時:2月27日(土)13時30分～16時40分
場所:京都教育大学 大講義室2 JR奈良線藤森駅下車徒歩3分/京阪電車墨染駅下車徒歩7分
内容:(第1部)活動報告会 京都教育大学附属特別支援教育臨床実践センター、京都YMCA (第2部)映画「ぼくはうみがみたくなりました」上映会
料金:1,000円(学生800円) チケット販売・お問い合わせ:京都YMCA 主 催:京都YMCA、京都教育大学附属特別支援教育臨床実践センター(予定) 後援:京都教育大学(予定)

3. 創立121年会員集会

日時 2010年2月13日(土) 於:マナホール

第1部 記念礼拝 午後6時30分～7時

第2部 会員について協議 午後7時～9時

4. 白山スキーキャンプ 参加者募集

日程 2010年2月12日(金)夕～14日(日)夜 2泊3日

対象 小学1年～6年

行先 石川県白山瀬女高原スキー場

宿泊先 金沢学院大学白山麓研修センター

費用 41,000円(会員外の方は別途シーズン会費2,000円が必要となります。)

5. ボランティアセミナーのご案内

ちょこっとボランティア視覚障がい者サポートの講習会
障がい者も高齢者も子どもも、だれでもが地域の中で一緒に生活をし、社会参加をする「ノーマライゼーション」の考え方が最近では多くの人に受け入れられつつあります。いろいろな設備を整え、だれにでも行動しやすい環境を作ること大切です。しかし、そういったハード面の完備を待つより前に、周囲の人がさりげなく声をかけ必要な援助をすることで、自由に行動できるようになる人がいっぱいいるのです。今回は、京都YMCA国際福祉専門学校の講師でもある松永さんに、当事者の立場から視覚障がいについて、また望ましいサポートについて語っていただきます。講師 松永信也氏(京都YMCA国際福祉専門学校、京都福祉専門学校非常勤講師)

日時 1月23日(土) 午後6時30分～8時30分

場所 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費 お一人 300円 定員 30名(申込み順)

電話(075)-231-4388 FAX(075)-251-0970 e-Mail

kyoto@ymcajapan.org (ボランティアセミナー除く)

Happy Birthday

JANUARY

- 10日 保 明彦 ワイズ
- 19日 森 伸二郎 ワイズ

今月のスケジュール

1月

- 8日(金) 新年例会 清水順正「おかべや」
- 20日(水) 半期総会 グランドプリンスH
- 24日(日) チャリティーボーリング
- 27日(水) 役員会 京都YMCA

役員会報告

<承認された議案>

- 新年例会登録費の件 メン無料、メネット6千円、メンバー候補6千円、ゲスト8千円
- 利川彰男君退会の件